

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】 2023. 5. 28.

聖霊降臨日 ペンテコステ

聖霊降臨節 第1主日

黙想(黙祷)

招詞 わたしは新しい心をあなたがたに与え、
新しい霊をあなたがたの内に置く。
あなたがたはわが民となり、わたしはあなたがたの神となる。
(『讃美歌21』93-1-49)

讃美歌 342 (神の霊よ、今くんだり)

主の祈り

讃詠 28 (み栄えあれや)

聖書 使徒言行録 2章1節～13節
(新約 214頁)

信仰告白 使徒信条

メッセージ 「聖霊がくだる」

多田玲一牧師

祈禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 341 (来たれ聖霊、わが主)

頌栄 24 (たたえよ、主の民)

黙想(黙祷)

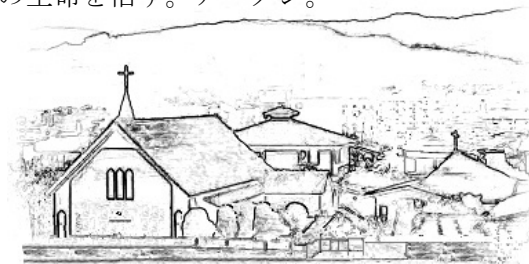
◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。

【主の祈り】 (『讃美歌21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



◆聖霊が降る

- 1 五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、
- 2 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。
- 3 そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。
- 4 すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。
- 5 さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、
- 6 この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられてしまった。
- 7 人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。
- 8 どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。
- 9 わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、
- 10 フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方などに住む者もいる。また、ローマから来て滞在中の者、

- 1 1 ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もおり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」
- 1 2 人々は皆驚き、とまどい、「いったい、これはどういうことなのか」と互いに言った。
- 1 3 しかし、「あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者もいた。

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』